

2022年度 日本工学院専門学校											
ミュージックアーティスト科											
マルチメジャー											
対象	1 年次	開講期	前期	区分	選択	種別	講義	時間数	15	単位	1
担当教員	志鎌克彦			実務経験	有	職種	レコード会社ディレクター				
担当教員紹介											
ビクターエンタテインメント株式会社等のメジャーレコード会社にて、ヒットアーティストを数多く輩出したディレクター。音楽業界への人脈も多数あり、学生のデビュー、音楽業界人との接触の機会を多く作っている。											
授業概要											
ミュージックカレッジの学生は興味のあるアーティストに携わる仕事を望む傾向にあるため、興味や関心の幅を広げることによって就職先の視野も広げる。この講義を経て学習内容をふまえてエンタテインメントに精通する人材となる。											
到達目標											
テレビ番組の放送内容の倫理的な部分を理解し、Youtubeとの違いを理解するなどSNSにおけるマナーも含めて理解して行く。使い方によっては有効な手段も一歩間違えると危険性をもたらす事理解。音楽業界に従事するのであれば「情報解禁」と「情報漏えい」など守秘義務の徹底を心がけさせる事が必須となる。											
授業方法											
主に板書と配布する資料を中心に講義を進めていく。選択制科目なので小人数での講義											
成績評価方法											
試験・課題	70%	課題毎に提出。検定試験の受験・点数により評価									
成果発表	20%	授業内に行われるロールプレイング・グループワークにより評価									
平常点	10%	積極的な姿勢									
履修上の注意											
主に板書と配布する資料を中心に講義を進めていく。選択制科目なので小人数での講義を検討しており、互いの確認のために堅い解決形式を取らせ講義だけの時間としない事。また専門分野以外の学びなので自らテレビ局、ラジオ局、などのマスコミ関連企業を訪問するなどレポートも作成させ理解を深めさせる。提出率が4分の3を満たしていない者、4分の3以上出席しない者は進級できない。											
教科書教材											
毎回授業にて資料配布を行う 参考書・参考資料等は授業中に指示をする											
回数	授業計画										
第1回	テレビ局（民法、公共放送）について理解する										
第2回	新聞社について理解する										
第3回	テレビ局と新聞社の繋がりを理解する										
第4回	広告代理店について理解する										
第5回	出版社について理解する										

2022年度 日本工学院専門学校	
ミュージックアーティスト科	
マルチメジャー	
第6回	ゲームソフト会社について理解する
第7回	モバイルゲーム会社について理解する
第8回	コンテンツ系、家庭用ゲーム機、玩具メーカーについて理解する
第9回	音楽・映像ソフトメーカーについて理解する
第10回	テーマパーク企業について理解する
第11回	アミューズメント施設の概要について理解する
第12回	映画配給会社について理解する
第13回	ITサービスの構造を理解する
第14回	ソフトウェア開発企業の構造を理解する
第15回	インターネット・通信インフラの構造を理解する